



『旭山どうぶつえんに行ったよ』
三上 咲耶 さん／東京都・2年生

個人の部 最優秀賞

〔三上咲耶さんの受賞の言葉〕

夏休みに旭山動物園へ行きました。ホッキョクグマが一番かわいかったので、それをかこうと決めました。絵はがきが白いとホッキョクグマの白さが分かりづらいので、絵はがきはあい色で作って、ホッキョクグマの白くてかわいいところを表しました。ホッキョクグマの白さとやわらかさを表すのに何度も白い絵の具をぬったところが一番くろうしました。

去年から絵はがき作りを始めて、今年は学校でも絵はがきを作りました。絵はがき作りはとても大変だけど、とても楽しいです。



三上咲耶さんと日本製紙連合会 広報委員長 武田芳明

個人の部 優秀賞



1年生 『およぐぞ』
峠 光希 さん／岡山県



2年生 『いっぱいできた』
寺久保 樹里 さん／埼玉県



3年生 『大きな花火』
矢澤 彩花 さん／神奈川県



4年生 『一家団欒』
林 詩月 さん／兵庫県



5年生 『波の花』
寺島 未桜 さん／千葉県



6年生 『獲れなかったから
一個もらったヨーヨー釣り』
木下 咲音 さん／千葉県

*手づくり絵はがきコンクールの詳細はホームページをご覧ください。

日本製紙連合会 <https://www.jpa.gr.jp/>

第15回 手づくり 絵はがきコンクール

受賞者発表

がんばった、1,662人の子供たち。素敵な夏とリサイクルの体験を忘れずに。

日本製紙連合会が小学生の皆さんを対象に、平成16年から毎年開催してきた「手づくり絵はがきコンクール」。今年度は、全国から1,662の素敵な作品が集まりました。子供たちは牛乳パックを一度、紙の原料であるパルプ液にまで戻すという手のかかる作業を行ってから、はがきサイズに作り直します。そしてそこに「夏休みの思い出」を描いて、自分だけの絵はがきを仕上げるのです。受賞者の皆さんはもちろん、コンクールに参加してくれた子供たちが、手づくりのはがきに描いた大切な思い出とリサイクルの体験を、ずっと忘れずにいてくれることを願っています。

団体の部 最優秀賞



第15回団体の部 最優秀賞 蒲郡市立竹島小学校の皆さん

〔蒲郡市立竹島小学校・内田李江子先生の受賞の言葉〕

2年連続で団体の部で最優秀賞をいただき、たいへん驚いています。本校では、2年前から図工の授業で手作り葉書づくりを行っています。手作り葉書づくりを通してリサイクルを学んでほしいという思いではじめました。今年度は、紙を漉く時に、パルプと水の配合を子どもたちが自分で考え、より薄く、より美しい葉書になるように心がけました。低学年は、夏休みの楽しい思い出を心をこめて描くことができました。中学年は、絵を大きく描くことを心がけて、味のある作品に仕上げることができました。高学年は、伝えたい思いをわかりやすく伝えるために構図を工夫し、一筆一筆丁寧に描くことができました。今年も最優秀賞をいただくことができたことは、子どもたちにとって学が喜びにつながったと思います。子どもたちと一緒に、環境問題についても学びを深めていけたらと思います。